

白洲正子と歩く

琵琶湖 江南編 (全4回)

～カミと仏の融け合う処～

開催日時 日曜日 13:30～15:30

① 6月10日 **自然に宿る近江のカミ** 白洲正子が語る「自然信仰」の最もピュアな姿は、自然の岩や樹木に対する祈りです。近江に残る自然信仰の姿を紹介します。

② 7月29日 **比叡のカミ** 姿なき自然のカミと仏教の仏との融合を試み、日本人にとって解りやすい仏教の基礎を開いたのが最澄です。最澄の思想と足跡を比叡山に追います。



③ 8月5日 **カミと仏の融け合う処** 最澄が示したカミと仏の融合の文化は、近江を中心に拡散してゆきます。この姿を山寺に対する信仰を中心に追います。

④ 9月2日 **岩に宿る気配** 自然信仰の在り方として、「磐」に対する信仰とその造形にあります。白洲正子を感動させた近江の石造美術を通して、カミと仏との関係を解説します。



開催場所：大津市勤労福祉センター 5階 大ホール

講師：公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 大沼 芳幸 氏

受講料：4回分 2,400円 (教材費別途 500円)

※受講料、教材費は開催初日 6/10 に徴収させていただきます。

定員：先着順30名

申込期間：5月16日(水) AM8:40～6月8日(金)

講師紹介

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会
普及専門員 大沼 芳幸 氏

びわ湖をめぐる文化史を考古・歴史・美術・民俗・漁業・環境等幅広い視点から研究成果の普及活動を行っている。特に、精神文化の視点から独特の城郭論を展開するほか、白洲正子の著作を通して、琵琶湖の文化の魅力発信にも力を入れている。
近著として『白洲正子と歩く琵琶湖—江南編』がある。

申込方法

5月16日(水) AM8:40~6月8日(金)までに電話(077-522-7474 または 077-525-1105)、FAX(077-523-3494)【講座名、氏名、電話番号、FAX番号を記入】または大津市勤労者互助会ホームページ

(info@otsu-gojokai.jp)の講座申込フォームよりお申し込みください。

受講料・教材費は講座初日の6月10日(日)に徴収させていただきます。

FAX、ホームページからのお申し込みについては、申し込み後3日(土日祝祭日を除く)以内にそれぞれFAX、メールにて「受付完了」の連絡をいたします。

事務局からの返信がない場合(ホームページの場合は自動返信メールとは別途)は、受付が完了しておりませんので、お手数ですが事務局までご連絡ください。

※お申し込みが少数の場合は中止することがあります。

※やむを得ずキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。

(受講料・教材費をいただく場合があります。)

問合せ先

大津市勤労福祉センター

場 所：大津市打出浜1-6

TEL：077-522-7474

または 077-525-1105

FAX：077-523-3494

開館時間

月~土曜 午前9時~午後9時まで

日曜日 午前9時~午後5時まで

休館日 毎月第3日曜日、祝祭日

地図

